

2025年12月4日  
ホスピア玉川

令和7年度 臨時の医療施設運営候補法人向け研修  
ワークショップ  
ゾーニングと動線を考える

東京医科大学病院 感染制御部・感染症科  
東京都保健医療局アドバイザー  
中村 造

M.D., Ph.D., MTID, MBA

# 研修のねらい

- 個別性の高い施設を臨機応変にどう有効利用するかを考える
- 感染リスクの低減だけでなく医療スタッフのワークフローの効率も考える
- 実現可能性を理解する
- ワークショップ形式で共に考え多様な答えを導き出す

# タイムテーブル グループA

- 13:30 (10分) イントロダクション
- 13:40 (10分) 実地視察
- 13:50 (20分) ワークショップ
- 14:10 (20分) グループ発表と質疑応答

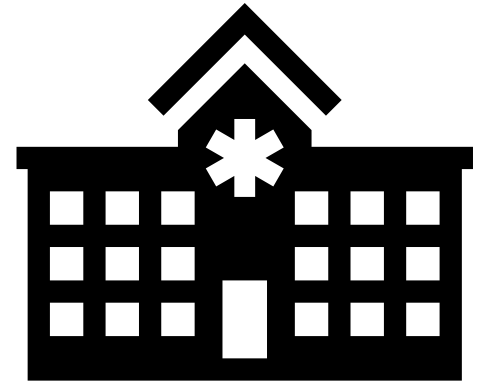
# タイムテーブルグループB

- 14:45 (10分) イントロダクション
- 14:55 (10分) 実地視察
- 15:05 (20分) ワークショップ
- 15:25 (20分) グループ発表と質疑応答

# 感染対策の基本と原則

# いつどこに感染患者がいるか分からない

- 日常生活よりも医療施設ではそのリスクが高い  
疾患を持つ人が来院する場所



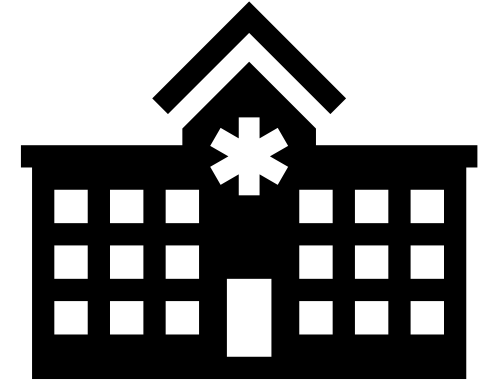
- 日常的感染予防策では不十分

日常的感染予防策：手洗い、うがい etc.

コロナ禍、マスクなどが追加になった

- 医療施設で必要な感染予防策：レベルを上げた対策が必要

# 医療施設で必要な感染予防策



- その予防策が「**標準予防策**」
- リスクが高い場所ゆえに、たとえ感染患者が紛れ込んでも伝播を防ぐことが可能な予め実施していく対策
- COVID-19の出現で、より一層この考えが大切に

# 標準予防策の重要な2要素

①感染の有無にかかわらず**全ての患者**を対象にして

②**湿性生体物質**（汗を除く、体液、分泌物、損傷した皮膚、粘膜）は感染性があるとみなして対応する、こと

# 経路別予防策

標準予防策に加えて

- 飛沫予防策
- 接触予防策
- 空気予防策

隔離環境

- 飛沫が飛ぶ範囲
- 患者物品が共有される範囲
- 空気が共有される範囲

---

- エアロゾル感染予防策

- エアロゾルが飛ぶ範囲

基本的には、診断されてから、または  
強く疑われ後に診断される場合に実施する

# 湿性生体物質との関係

- 標準予防策

湿性生体物質に対し個人防護具を選択

- 経路別予防策

(診断後の対策、限りなく可能性が高い場合の対策)

湿性生体物質の有無に問わず個人防護具を選択

# 標準予防策と経路別予防策

- 多くの医療施設でトレードオフの関係にある
- 標準予防策が弱い施設：経路別予防策を強化
- 標準予防策が強い施設：経路別予防策を限定的に使用
- つけるべき時に个人防护具をつける
- 常時个人防护具をつける

# 個人防護具の過剰使用

- 汚染リスクの増加
- 業務の停滞／スタック
- 疾患の社会一般化への障壁

ワークショップ内容

# 本日の設定

## -感染症の特徴と流行状況

- 新型インフルエンザが流行している
- 高病原性鳥インフルエンザよりも季節性に類似する特徴を持つ
- 流行開始から1年が経過し感染経路は判明している
- 飛沫感染が主体であるが、一部にエアロゾル感染も成立する
- 物品を介した感染は稀である
- 本施設では人工呼吸器管理の症例はいない

# ワークシ ョ ッ プ<sup>o</sup>1 (10分)

## 2部屋のみ感染症用病床しと、他は非感染用病床とした場合

- ①図面表に**ゾーニング**を記入  
    **ゾーニング方法**を記入（パーテーション、テーブルetc.）
- ②図面表に**患者・医療者動線**の記入
- ③転院**受け入れゾーン・動線**、スタッフ休憩室の記入
- ④个人防护具の**着脱場所**の設定

# ワークシ ョ ッ プ<sup>2</sup> (10分)

## フロア全体を感染症用病床した場合

- ①図面表に**ゾーニング**を記入  
    **ゾーニング方法**を記入（パーテーション、テーブルetc.）
- ②図面表に**患者・医療者動線**の記入
- ③転院**受け入れゾーン・動線**、スタッフ休憩室の記入
- ④个人防护具の**着脱場所**の設定

# グループ発表 (20分)

- 図面の写真と撮影
- 写真を投影しプレゼンテーション

Let's start!

# 事後課題

## - 自施設の図面シミュレーション

- 自由提出課題
- 期限締め切り：1月20日
- 本日の研修を参考に自施設の図面にゾーニング、動線、転送受け入れ場所、スタッフ休憩空間、個人防護具着脱ポイントなどを記入し提出
- 後日、添削し返却